

私は昭和16年12月8日太平洋戦争「大東亜戦争」の翌年に1年生になった時のうまかった二瑞小の学校給食を思い出しました。「大豆の入ったご飯」(アルミ容器)・味噌汁・味噌漬けのアヒルの肉・タクワンの献立に時々アヒルの乾燥卵の甘辛の炒り卵でした。

しかし、それも18年の初めで終わってしまい、19年には学童集団疎開が始まってしまいました。敗戦後の21年に学校給食が始まりました。

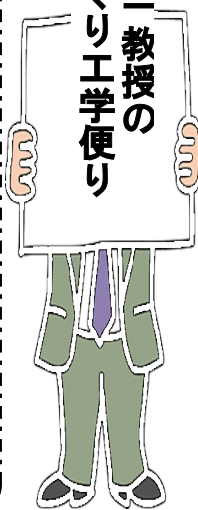
たが「青虫のいっぱい浮いている味噌汁」のみでした。55名くらいの生徒のうち弁当を持って来る者は半分「麦入りご飯弁当」は2〜3人、サツマイモ2〜3本持って来る者・ジャガイモを持って来る者、後はすきっ腹を抱えて校庭で日なたぼっこしていました。

その後、ララ物資の「脱脂粉乳」水で薄めて飲むのですが、本当にまずかった。トマトジュースは、ほとんどの生徒が初めて出会った飲み物でみんな飲みませんでした。味噌汁が代わるがわる出てきました。私は腹が空いていたので良く飲みましたね。先生は食事が終わって余った汁を教室の後ろに置いてくれました。今、考えるとありがたいことだったと思います。

平成十九年十月の原稿を再度掲載致しました。

☆六郎が語る☆
南千住一口話
特別編 第76回

吉田喜一教授の
ものづくり工学便り



荷風と南千住

産技高専名誉教授 吉田喜一

4月30日は永井荷風の命日で、荷風忌が例年南千住の浄閑寺で行われます。今年にはコロナで中止になりました。浄閑寺は「投込寺」と呼ばれ、新吉原総霊塔や荷風の筆塚を始め、各種史跡があります。画家・花又花酔の川柳は有名です。「生れては苦界 死しては浄閑寺」。小説『濃東綺譚』や『断腸亭日乗』日乗とは日記のこと)に、南千住がたびたび出てきます。一昨年は荷風没後60周年で、劇団民藝が『新・正午浅草荷風小伝』という芝居をやっていたので見てきました。これらの中で浅草の行きつけの洋食レストラン『アリゾナ』や、住まい近くの京成八幡の割烹『大黒屋』日本酒「合とかつ井を食べていた)が出てきます。そのうち行こうと思っていたのですが、両店とも閉店してしまいました。残念!

メガネの
祐一郎君の
アドバイス
消費生活
アドバイザー
佐藤祐一郎

東京駅から等々力へ 東急バスの小さな旅

こんにちは、メガネのサトウ4代目です。3月下旬、本紙に月号に掲載した「東急バス・東急系統 東京駅南口〜等々力操車場」路線バスの小さな旅に出かけてきました。朝8時過ぎ、東京駅バス停にやってきたのは、車内外ともに素敵なデザインの最新鋭燃料電池バスです。荘厳な丸の内駅舎を後にして、皇居のお堀、帝國ホテル、東京タワー、慶應義塾大学など都心部の著名スポットを横目に、バスは順調に走ります。清正公前交差点からは目黒通りをまっすぐ進み、目黒駅、都立大学駅などで多くの乗客の乗り降りがあり、やがて等々力陸橋の側道に入ると、等々力駅バス停に到着しました。ここで他の乗客は全員降りてしまい、少し先の終点・等々力操車場まで乗っていたのは私一人だけでした。1時間二分のバス旅は、変化に富んだ車窓と乗り心地の良い新型車両で大変楽しめました。この後、等々力溪谷と等々力不動を散策した後、もう一つ東急バス「都立01系統」の旅を楽しみ(来月号で掲載予定)、帰りは東京駅南口行きのバスを権之助坂停留所で途中下車して、目黒川の桜を存分に堪能してから帰宅しました。

4月21日(水)の東京新聞本紙朝刊「社説・発言」面のコーナーに、私の投稿が掲載されることになりました!当店公式ホームページにも掲載いたしましたので、ぜひご覧下さいませ。また、ホームページには初夏のセールチラシも掲載予定です。こちらもあわせてご覧頂けますと幸いです。毎日の営業情報は、「南千住 メガネのサトウ」公式ツイッターでも発信しております。

■メガネのサトウ ■ <https://megane-sato.com>
南千住5の43の13【東京新聞並び】
TEL 03 (3806) 4930

★休業日のご案内★

4月〜5月:毎週火曜定休です。また、5月3日(憲法記念日)は臨時休業日です。これ以外的大型連休中は毎日休まず(※)営業します。

★営業時間のご案内★

平日(月〜金) : 午前9時〜午後6時30分
土休日 : 午前10時〜午後5時

※(注意) : 5月2日(日)と5日(こどもの日)に限り、午後3時で終業とさせていただきます。